

NK・KA 大型クレーンCリングタイプ旋回ベアリング点検について

クレーンキャリアと上部クレーン旋回体の分解装置としてCリングタイプ機構のクレーンにおいては輸送時の上下分解時及び旋回ベアリング締付ボルトの定期点検時（500時間毎）には必ず下図の部分も重点的に点検して頂き、不具合があれば速やかに修正を行って頂きますようお願い申し上げます。

特に長期間港湾作業等に従事する場合など、上下分解の機会が少ない場合は旋回ベアリング取付ボルトの定期点検（500時間毎）実施の際に下図の点検を併せて励行願います。

長期間の港湾作業において旋回ベアリングの点検が行われず、シェアプレートの溶接部に亀裂が発生していた事に気づかずに継続使用をしたため、シェアプレートが損傷しその結果、緊縛ボルトに過大な力が加わってボルトが折損し、クレーンの上部旋回体が転倒するという事故例がありました。

就きましては、特に上記のような作業に従事しているクレーンについては旋回ベアリング取付ボルトの定期点検時に必ずシェアプレート溶接部の亀裂の有無等について確認し、異常があれば修正してください。修正方法については弊社サービス工場にご相談ください。また、極端に旋回の頻度が多い場合には、旋回ベアリング取付ボルトの点検も含め、250時間毎に点検を行ってください。

